

堺市議会
議員

まとは慎一 市政報告

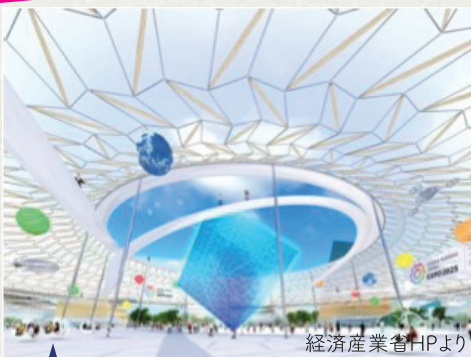
2025年 大阪万博の活力を堺へ!
すべては大阪維新の会の提案から始まった

- メイン通りの間をつなぐ通りには、水路や緑の並木を整備
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる

■来場者にやさしい会場、美しい景観

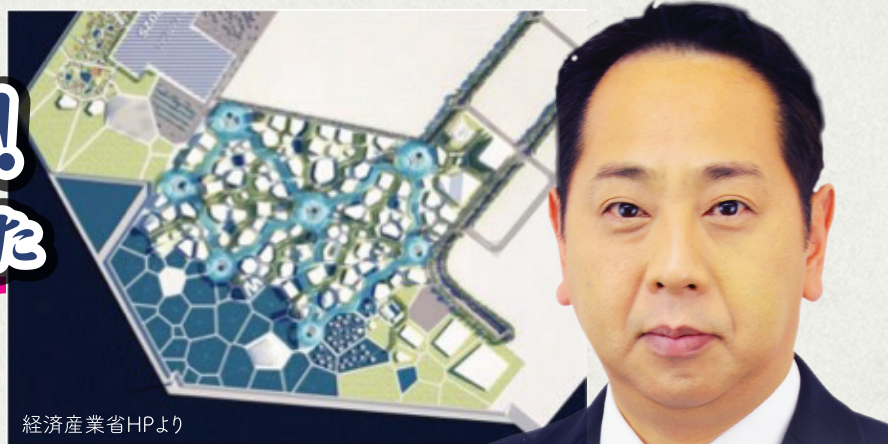


経済産業省HPより



経済産業省HPより

会場の5ヶ所に「空」(くう)と呼ばれる大広間を設置。AR(拡張現実)やMR(複合現実)技術を活用した展示やイベントを行い、来場者の交流の場となる。



経済産業省HPより

昨年11月に「2025年、大阪万博が開催決定」致しました。署名活動やご支援のお声など、多くの皆様のご支援の賜物であります。心より御礼申し上げます。医療や健康長寿をテーマに人類の50年後を人類英知の結集で提案する大阪万博に大きな期待が寄せられています。今後、交通網の延伸など様々なニュースが生まれていきます。政府の試算では経済効果2兆円。再開発やインフラ整備が進めば、投資やベンチャー企業の誘致、また新産業創出も期待できる。大阪中心部の発展をベクトルタウンでもある泉北ニュータウンに大きな効果をもたらすように働きかけてまいります。

挑戦し、実現する! 大阪で続くビッグプロジェクト

2031年 なにわ筋線開業
(なんば止まりの南海線が新大阪まで)

リニア中央新幹線開業
(2027年名古屋まで、2037年大阪まで)

2025年 国際博覧会

**2024年 うめきた2期一部まちびらき
IR(統合リゾート)開業(見込み)**

2023年 新名神高速道路全線併用

2021年 ワールドマスターズゲームズ2021関西

2020年 オリンピック・パラリンピック

**2019年 G20大阪サミット
ラグビーワールドカップ**

堺も大阪府市連携で新たなステージへ!!

- 泉北ニュータウンのリニューアル事業
- 財源を生む観光政策
- なかもず駅での乗り継ぎ改善
- 命を守る防災対策 等

身を切る改革を実行中!

大阪維新の会堺市議会議員団はこれまで、議員の報酬2割削減条例を重ねて提案してきましたが、他政党の全てが反対し否決されています。しかし、財源を生み出す行政の改革を進めるためには、政治家が身を切り、自らで財源を生み出し、向かって行くことが必要です。そこで大阪維新の会堺市議会議員団としては自主的に報酬2割削減を実践しています。そして堺市民の想いとして今年度も熊本市、高槻市、茨木市、北海道へ寄付させて頂いています。今年度の総額は3032万円となっています。今後も堺市議会において「身を切る改革」の実行に向かって議論を行ってまいります。

■ まとは慎一 ネットラジオ継続中!

聴きたい時に聴ける! まとは慎一のネットラジオ、Podcastにて配信! iPhoneやiPadなどをお持ちの方はPodcastアプリからの場慎一と検索。Android機種、PCの場合は私のWEBサイトからお聴き頂けます。ゲストなどお招きましてお送り致します。今年からはspotifyでも配信開始。

的場 慎一

検索



■ 市政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会

**まとは慎一
市政相談事務所**

〒590-0103 堺市南区深阪南 342-12

☎072-230-1887

WEB: <http://www.ishin-matoba.com/>

■ まとは慎一 プロフィール

1969年生まれ 49歳。
産業機械設計・アウトソーシング会社経営。
大阪府立狭山高校卒
神戸学院大学法学部卒
▶2008年 (社)堺高石青年会議所第54代理事長
▶2013年 市議会補欠選挙にて初当選
▶2015年 統一地方選挙を経て現在2期目。
三原台在住 4人家族

@matobashin

shinichi.matoba.9

まとは慎一12/14(金)健康福祉委員会質疑

～温もりのある政治・行政を目指して～

動物の殺処分ゼロを目指して！

質疑1

堺市昨年度犬・猫の殺処分は犬が16頭、猫が112頭となっている。大阪市では2025年に向けて重度の病気以外で、健康な動物の殺処分ゼロを目標に掲げている。また、それに向けて保護した動物の譲渡会の回数を追加するなど、施策も展開しているところ。一方、堺市では殺処分ゼロなど、明確な目標設定がされていない。この事を問題視し、質疑を行った。答弁としては、殺処分を減らすことについては理解を示したが、明確な目標については設定しない内容となった。私から、竹山市長へ明確な目標設定があつての推進であるとの意見し、検討を求めた。

老人ホーム入居の優先度について

質疑2

老人ホーム入居の優先度は、必要とする支援の度合いを点数化し、その点数制で考慮している。この点数制度だけでは、背景にある緊急性をどのように判断するのが明確でない。ケアマネジャーからの報告で考慮されることの答弁であったが、今後、申込者が増加していけば緊急性などについても明確な評価が必要となる。施設との調整や状況に応じた検討も担保し、緊急性にも明確に対応していけるように体制検討を求めた。



これからの医療と介護の連携とは？

質疑3

現在の超高齢社会、介護現場においても医療的な支援が必要との声が高い。医療と介護の連携のコーディネートは行政の役割であるとの強化を求めた。最終的には中学校区単位での連携体制が必要だと意見した。そのために各地域で医療と介護の連携について話し合う場を作っていくように求めた。



待機児童ゼロを目指して

質疑4

国において幼児教育・保育の無償化が行われると入園の申し込みが増加すると考えられる。待機児童ゼロに向けてますます保育士などの人材確保が重要となってくることから、人材確保について結果を出せる取り組みが重要と意見。私から他市の保育士人材確保プロジェクト事例を示し、堺においても独自の施策展開を行うためにプロジェクトの立ち上げを検討するよう意見した。



2018年11月17日(日)説明会。約500名の方々が参加。

近大移転についての住民説明会が開催された！

三原台地域において、近畿大学医学部移転は大きな街の変化となる。住民の声を聞き、丁寧なまちづくりを進める事を重視し、私は堺市に対して、全ての三原台住民を対象にした説明会を開催するよう、議会でも求めてきた。約2年間かかってようやく実施となった。説明会では、近大移転が地域医療にもたらす効果や、堺市が行う緑道や公園リニューアルを始めとする様々な事業について資料で説明された。当日は約500名弱の方々が参加され、事業の白紙撤回、田園公園や緑地を残して欲しいなど様々な意見も出た。今議会、会派として代表質疑の中で、この件について質疑を行ない、意見も述べさせて頂いたところ。

・ビッグバン後背地の公園建設は地元住民にとって代替え公園にはならない。

・近大への譲渡区域でも地元住民や一般の人が自由に憩える緑地空間を作っていくこと。

・近大エリアを抜ける緑道について、自由に通行可能となっているが、更に法的な権利を確保することなどを意見し、対応を進めるように要請した。

ただ、住民説明会当日は一方的な議論ではなく、高齢者マンションからの要望に対して近大もあらためて真摯に対応すると約束する場面もあった。そういう事も含めて、もっと早期に行うべきであったが、住民説明会を開催した事については、質疑にて評価するとした。近大病院及び医学部が移転し、完成したとしても地元にとっては終わりではない。しっかりと良い関係が継続していけるよう、またこの移転が南区の先端医療、地域医療へ大きく効果が発揮されるように堺市の政策の実施、対応を継続するように求めていく。